

目次	
口絵	
序	
凡例	
総合解説	1
第一章 支配と村・町	15
第一節 蔵入と地方知行	16
蔵入地村方と給知村方／元高と概高／知多郡一円上り知と再知行／除高	
第二節 藩の支配と給人の支配	26
蔵入地村方の支配／給知村方の支配	
第三節 年貢・諸役の賦課と徴収	37
年貢米と麦年貢／御払居米と運賃米／綿布役銀と種々の役銀／調達金と先納金	
第四節 村と町	54
村と町並みの運営／村・町で起こる紛争／村・町の経済／村・町の商人たち	
第五節 領主と地域の関わり	113
諸町村のなりたちと由緒／藩主の休憩所／藩主巡覧／御狩と御殿	
第二章 山・川・新田	157
第一節 山林	158
御林・定納山・平山／山の管理／山入会・山境争論／山同心／獵師	
第二節 雨池	184
雨池／雨池の築立／雨池の利用	
第三節 川・用水・排水	199
河川の管理／杵・橋／用排水／井領米／水をめぐる村々の結合／水をめぐる争い	
第四節 土地を拓く	220
新田開発／新田経営／塩田	
第五節 災害とその復旧	241
洪水・破堤／地震／その他の災害／復旧	
第三章 産業	265
第一節 農業・塩業	266
農業／塩生産	
第二節 特産品の生産	279
醸造業／木綿業／窯業／産物	
第三節 職人と諸稼ぎ	326
大工・瓦職／鍛冶と黒鋏	
第四章 交通・流通	335
第一節 陸上交通と河川舟運	336
下街道と瀬戸街道／東海道／美濃路／河川交通	
第二節 商人と流通	378

商家経営／新田経営／領主と商人	
第三節 金融と相場	388
質商と貸金／貨幣と物価／頼母子	
第五章 寺院と神社	407
第一節 寺社の組織と運営	408
寺院の組織・由緒・運営／式内社ほかの由緒・運営／神職身分	
第二節 地域社会と寺社	448
キリシタン禁制／広域の神社祭祀／地域に根ざす信仰	
第六章 生活	483
第一節 家	484
由緒と家格／家の相続	
第二節 生涯	513
人の一生／通過儀礼	
第三節 暮らし	531
暮らす／働く／楽しむ／一年の暮らし	
第七章 社会	559
第一節 集団・身分	560
さまざまな身分／社会的諸集団	
第二節 社会の動揺と秩序	567
さまざまな事件／社会の動揺・変容／秩序の維持	
第三節 幕末期の情勢	606
海防／政治情勢と地域	
第八章 文化	631
第一節 教育と嗜み	632
教育／書籍／諸芸	
第二節 文芸	650
第三節 医療	657
第四節 人々の楽しみと来訪者	666
名古屋近郊の行楽地／興行	
第五節 祭礼と民俗	694
万歳／祭礼／農耕儀礼	
第九章 海村	719
第一節 海をめぐる支配	720
海と漁業の支配／役の負担と運上／破船の救助と留木	
第二節 海村の暮らし	738
漁業と経営／漁場と浜をめぐる争い	
第三節 島の暮らし	761
島民の暮らし／流人の暮らし／島の記録	
第十章 廻船	791

第一節 船をとりまく環境	792
船の支配／廻船仲間・諸規定／買船と造船	
第二節 船の航海と取引	826
廻船経営と取引／伊勢湾をめぐる船	
第三節 海難と信仰	852
難船／船と信仰	
解説	859
史料群解説	957
あとがき	977
執筆分担	979
資料提供者及び協力者	980
愛知県史編さん関係者名簿	982
掲載史料編年一覧	989